

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-136282(P2010-136282A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-312427(P2008-312427)

【国際特許分類】

H 04 W 88/02 (2009.01)

H 04 W 64/00 (2009.01)

H 01 Q 3/08 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 6 4 6

H 04 Q 7/00 5 0 8

H 04 Q 7/00 5 0 2

H 01 Q 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月30日(2011.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動体に搭載され、送信制御部と送信高周波部と送信アンテナとから成り映像信号を無線送信する送信側データ伝送装置と、受信アンテナと受信高周波部と受信制御部とから成り、該映像信号を受信する受信側データ伝送装置とで構成されるデータ伝送システムにおいて、

前記送信側データ伝送装置の前記送信制御部、若しくは、前記受信側データ伝送装置の受信制御部は、

任意の手段により位置情報を検出する位置情報検出回路と、該検出された位置情報に基づいて、現在のアンテナの方向、アンテナの方向調整すべき水平方向、及びアンテナの方向調整すべき垂直方向を少なくとも算出する方向計算処理回路と、該算出された現在のアンテナの方向、アンテナの方向調整すべき水平方向、及びアンテナの方向調整すべき垂直方向を表示するための表示回路とを備えた表示部とから成ることを特徴とするデータ伝送システム。

【請求項2】

請求項1のデータ伝送システムにおいて、

表示するそれぞれの要素を、例えば、三次元であれば三角形とし、先端部の中心からの位置や、太さ、等によって、各要素の値を表現すること、

アンテナ方向を確定するための要素量、例えば、受信電界レベルが最大である時には、当該要素を示す表示を、中心点から最小にするか、最小幅にするか、若しくは非表示とすること、

アンテナ方向を確定するための要素量、例えば、受信電界レベルが最大若しくは所定の値以上である時には、当該要素を示す表示を、中心点から最大にするか、最大幅にするか、若しくは非表示とすること、

アンテナ方向を確定するための要素量、例えば、受信電界レベルが最大である時には、

当該要素を示す表示色を変更するか、若しくは画面全体の表示色を変更することとの少なくとも一方を行うことを特徴とするデータ伝送システム。

【請求項 3】

移動体に搭載され、送信制御部と送信高周波部と送信アンテナとから成り映像信号を無線送信する送信側データ伝送装置と、受信アンテナと受信高周波部と受信制御部とから成り該映像信号を受信する受信側データ伝送装置とで構成されるデータ伝送システムにおいて、

前記送信側データ伝送装置の前記送信制御部、若しくは、前記受信側データ伝送装置の受信制御部は、任意の手段により位置情報を検出する位置情報検出回路と、該検出された位置情報に基づいて、現在のアンテナの方向、アンテナの方向調整すべき水平方向、及びアンテナの方向調整すべき垂直方向を少なくとも算出する方向計算処理回路と、該算出された現在のアンテナの方向、アンテナの方向調整すべき水平方向、及びアンテナの方向調整すべき垂直方向を表示するための表示回路とを備えた表示部とから成ることを特徴とするデータ伝送システム。